

2004年3月号

中村伊知哉所長のどこでも移動所長室

ノノ子 = ノ 所長 = 所

- > ノ キル・ビル。ラスト・サムライ。ハリウッドがジャパン攻勢です。
- > 所 クールでポップなニッポンを世界が発見して喜んでるって感じ。
- > ノ 2003年は日本クールの一年でした。
- > 所 評判バブルだよ。もてはやされた割に業界はもうかってない。
- > ノ エンタテインメント業界の成長は期待されてるんじゃないんですか？
- > 所 でも業界の売上はここ数年、縮小してる。コンテンツは12兆円市場だけど、国民総生産に占める割合は、世界平均より小さいしね。日本は2%、世界平均3%。アメリカは5%。
- > ノ 産業として大きくはない、ということですか。
- > 所 海外市場に期待がかかるんだが、国際進出も遅れている。コンテンツの売上に占める海外市場の比率は、アメリカ17%に対して、日本は3%しかない。政府の委員会なんかが期待するほど競争力はないんだよ。
- > ノ 業界は大変ですね。
- > 所 ヒトとカネの流れを建て直さないと。
- > ノ 深刻。
- > 所 ただね、ビジネスより大切なことは肝に銘じておかないといけない。
- > ノ ぞーゆーこと？
- > 所 去年のIn the City Tokyoで、プロデューサーが言っていた。「大事なのは、音楽産業ではない。音楽だ。」ぞーゆーこと。
- > ノ いい曲をつくろう、と。
- > 所 そう。こうも言っていた。「数十年たっても値打ちのある音楽を創りたい。」
- > ノ クールです。
- > 所 音楽産業はせいぜい数百年の歴史だろ。音楽は数千年。
- > ノ In the Cityで、ユーミンと大貫妙子さんが初デュエットをみせてくれたじゃないですか。30年前の曲ですけど、色あせないですよ。ずっとクールだった、ってことですね。
- > 所 ぼく当時、中学生でね。FMから流れてきた曲に人生かなり左右されてんだよね。
- > ノ いまの音楽がいまのチュー坊に30年、影響与えられるかどうか。
- > 所 そういえば、In the Cityにはラフ・トレードのジェフ・トラビスさんも来ていたね。
- > ノ インディーズの雄。略してジェフ虎。
- > 所 けったいな略し方やな。自分の話で申し訳ないけど、これまた20年前、Scritti PolittiとかRaincoatsとかPILとかPop Groupとか、ぞーゆーバンドに人生揺さぶられてるんだよな。
- > ノ ジェフさん、講演で話してました。「本能に従って好きな音楽を創り続ける。」
- > 所 ぞーゆーこと。